

警告

- 本製品の取付け前に必ず取扱説明書を全てお読み頂きに内容に沿って正しく取付けてください。取付けをされた時点で取扱説明書の内容を全てご理解頂いたと弊社は判断し、その後のいかなる理由があっても保証外対応は致しません。
- 本製品の取扱には充分ご注意ください。誤った取扱は火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。またスパークや絶縁不良、ショートにより本製品の故障や車両火災の原因となりますので充分ご注意ください。
- 本製品は精密機器ですので、落としたり、配線を無理に引っ張ったりしないでください。故障の原因となったり、感電による怪我や火傷、人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。
- 本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。
車両火災や事故の原因となります。また、分解・改造した製品の保証は受けられません。
- 取付け作業前および作業中に本製品に損傷を発見した場合は直ちに取付け作業を中止し弊社サービス課へご連絡ください。

注意

- 本製品は、ホンダ ADV150(KF38)専用です。適合車種以外への取付けは出来ません。
- 製品取付けは整備士資格を有するプロが行ってください。素人作業で起こった不具合は保証の対象外となる場合があります。
- 車両側ジェネレーター発電能力によってはバッテリー上がりの危険性があります。バッテリーを定期的に充電してください。
- 製品の特性上、発熱致します。取付けの際は、必ず走行時に風があたる様に確実に取り付けて下さい。
また本製品を取付けた後も、定期的に増し締めなど確実に取付けられているか確認を行ってください。
- 夜間の停車時における長時間のフルパワー点灯は発熱による製品破損の原因となります。この場合は保証の対象外になります。
停車中の発熱を抑える目的で減光する仕様の別売り製品である品番 11605【RSE-01ユニット】を接続してご使用ください。
- 本製品の取り付けには方向性が決まっております。必ずディマースセンサーが上を向き、配線が下になる様に取付けてください。
それ以外の取り付け方でのご使用をされた場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 取り付け後は必ず光軸の調整を行ってください。高過ぎると対向車の視界の妨げになり、交通事故を誘発する恐れがあります。
- 点灯中のLED発光面を直視しないでください。視覚障害の原因となります。
- 点灯中または消灯直後の熱を持った状態で本体に水分が付着したまま長時間放置すると表面の塗装が腐食する恐れがあります。
付着した水分は必ず拭き取ってご使用ください。
- LEDフォグライト本体を落としたり、キズを付けたり、無理な力を加えないでください。
破損、性能の低下、寿命を縮めるだけでなく、ケガの原因にもなります。
- 紙や布、ガソリン、可燃スプレー、シンナー等燃えやすい物や引火する危険のある物の近くでは点灯しないでください。
- 本製品を使用中、少しでも異常を感じた場合は、お買い求めの販売店または当社サービス課までお問い合わせください。
- 本製品の取付けをした事により車両製造メーカーの保証が受けられない場合があります。予めご了承ください。
- 本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。また修理の際に生じる脱着工賃やその他、車両を運行出来ない等の損失・費用についても当社で一切責任を負いかねます。予めご了承ください。

製品の主な特徴・仕様

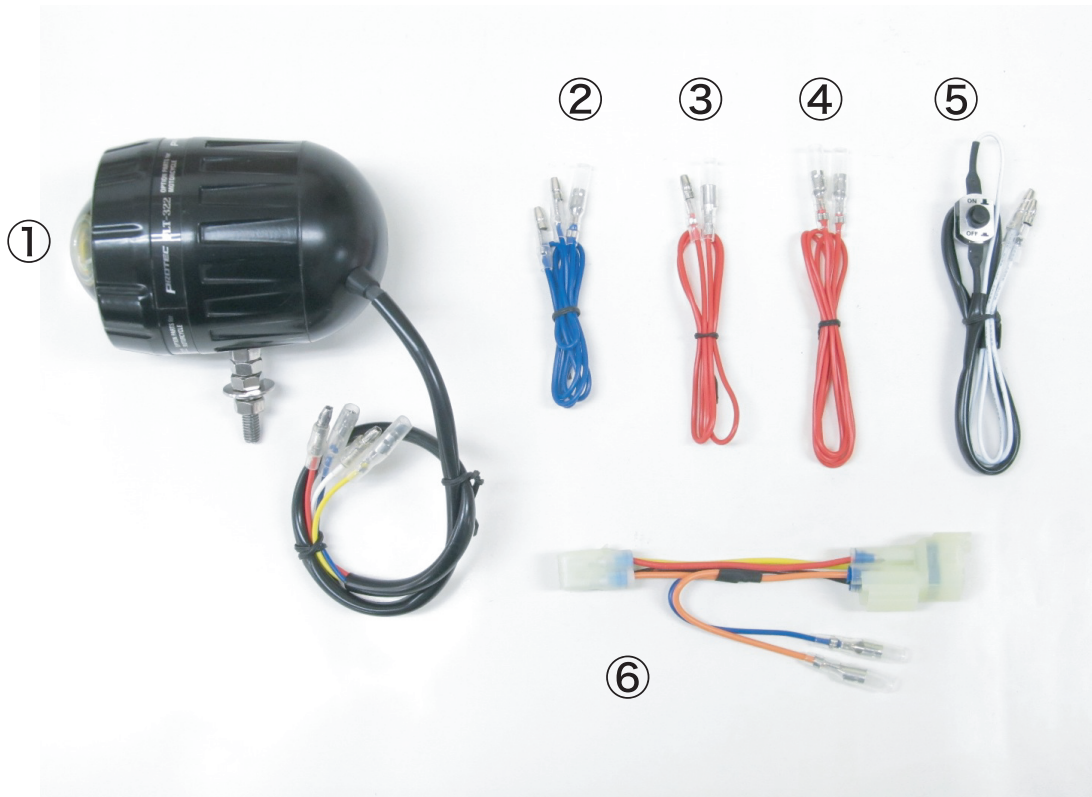
- **HIDを超えた明るさと省電力！**
本製品の入力電力は28wです。色温度は6000Kとなっております。
明るさの目安としては、35w 6000KのHIDと比較して同等以上の明るさがあります。
- **いきなり明るい素早い点灯！**
HIDと違い電源投入直後からフルパワー点灯します。またHIDのように徐々に発光色が変化する事はありません。
- **バッテリーに優しい自動減光システム採用！**
本製品はディマースセンサー(自動調光システム)を搭載しております。
日中周囲の明るさに反応してLEDの発光量を自動で減光しますので、日中はデイルイトとして機能し、夜間は28wフルパワーで点灯します。(減光状態と差は5倍です。)
また、別売りのエンジン回転センサー(RSE-01)を接続する事で、夜間停車中アイドル時にも減光します。
- **走行風による強制空冷タイプ**
本製品は、走行風を本体ユニット全体に当てる事でLEDの発熱を強制的に冷やす設計となっております。
例として時速36kmで風速10mの風で冷却されるため走行中はほとんど発熱しません。
日中はディマースセンサーの働きで1/5減光しますのでほとんど発熱はしません。
- **子機の増設が可能！**
本製品は別売りの品番 66322-R【FLT-322右ボルト】を取付ける事で車体の左右に振り分けての取り付けが可能です。
ご注文の際は取付けられる車種名を必ずご指定ください。使用車種をご指定された場合、山無しナットなど付属致します。
左右2灯でご使用される場合は必ず、別売りの品番 11607 【BDR-110 BAT.直リレー-kit 12v 10A】をご使用ください。
- **質感の高いダイキャストボディ**
本製品の本体は高級感あふれるダイキャスト製です。

仕様

●定格電圧 DC12V ●消費電力 28W ●色温度 6000K ●重量 420g

構成部品表

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| ①LEDフォグライト (FLT-322)左ボルト × 1 | ②アース用コード (青50cm) × 1 |
| ③電源取り出し用コード (赤50cm) × 1 | ④延長コード (赤70cm) × 1 |
| ⑤ON/OFFスイッチ (12v 3A以下) × 1 | ⑥専用ハーネス 防水4P × 1 |



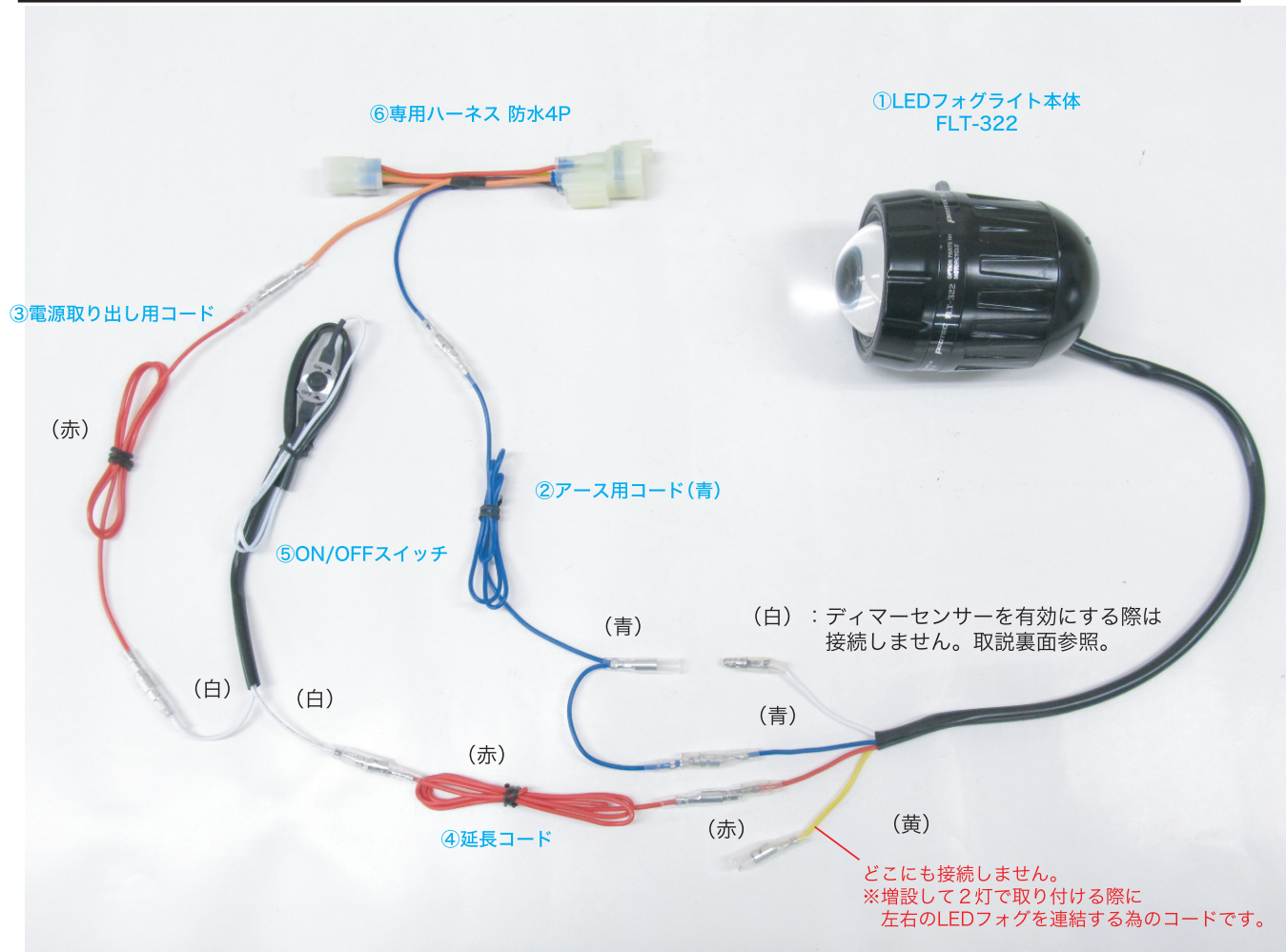
取り付け上の注意

本製品は車体左側(リヤブレーキレバー側)に取付け配線が下を向く様に取り付けしてください。
指定以外の取付けは雨水などが配線を伝って本体内部への浸入し故障の原因になります。
また対向車の運転者に迷惑が掛からないような照射角度にて取り付けてください。

取付けについては保安基準を満たすため、以下の条件のもと取付けてください。

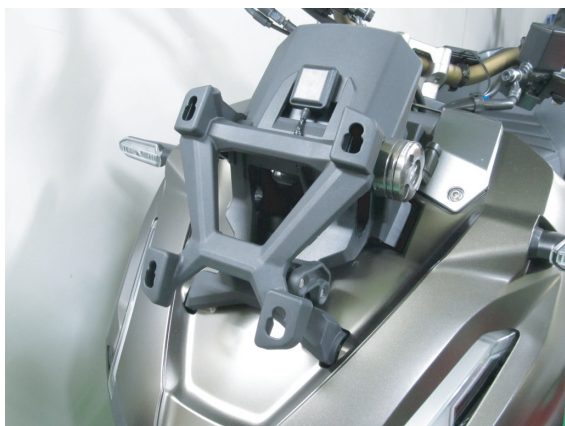
- ・ヘッドライトの中心より下に装着する事。
 - ・照射はヘッドライトの光軸より下である事。
 - ・フォグライトだけで同時に3個以上点灯してはいけない。
 - ・独立した点灯、消灯できるスイッチを取り付ける事。
 - ・取り付け位置は地面から25cm以上80cm以下である事。
- 詳しくは道路運送車両の保安基準を参照ください。

配線図



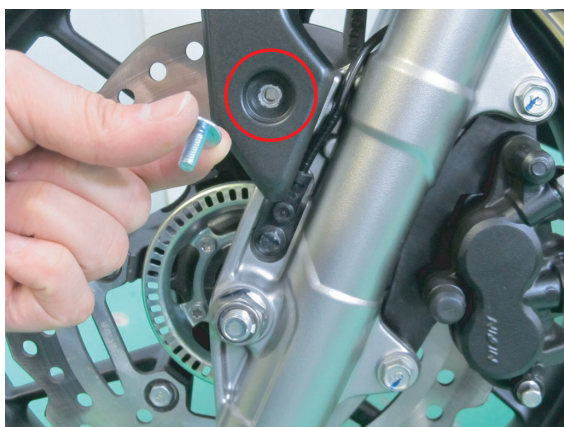
取付け方法

- ① スクリーンや左右サイドカウルなどを取り外します。



外装類の取り外し方やLEDフォグの取付け方法はプロテックブログにて詳しくご紹介しております。こちらのQRコードよりご覧ください。

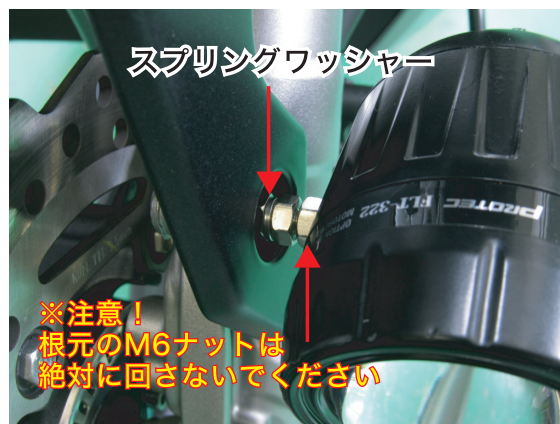
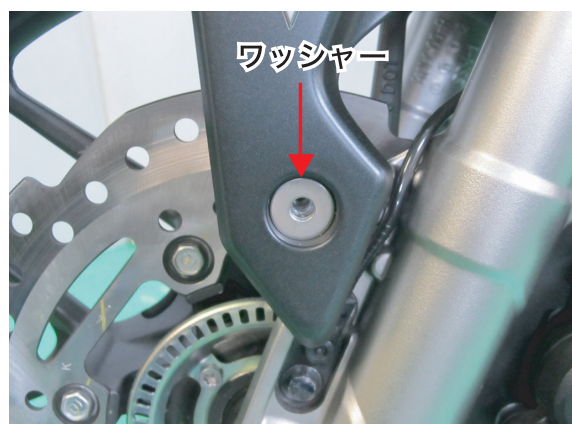
- ② フロントフェンダー左下のボルトを外します。



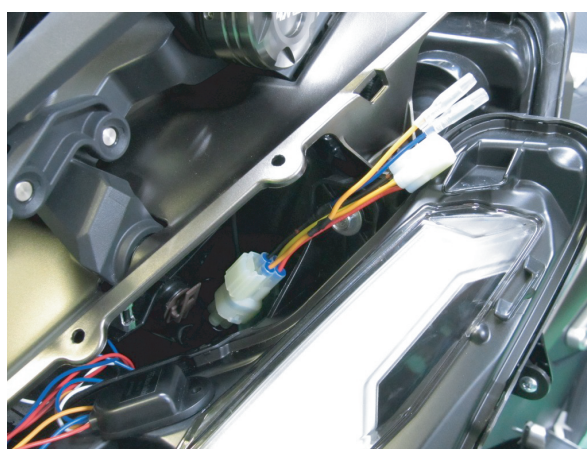
- ③ 下の画像の様にフォグのネジ部にM6ナット、ネジ山無しナットを取付けます。



- ④ フロントフェンダーの穴にワッシャーを入れて、フォグライトを②で外したネジ穴に取付け、ナットを締め付けて固定します。※ネジ部とナットにネジロックを塗布する事を推奨します。



- ⑤ 4P防水カプラーに部品表⑥の専用ハーネスを接続します。



- ⑥ 配線図を参考に部品表③の電源用コードと部品表⑤のスイッチを接続します。
部品表⑤のスイッチとLEDフォグの赤コードを部品表④の延長コードで接続します。
部品表②のアース用コードとLEDフォグの青コードを接続します。
ON/OFFスイッチはハンドル周りなどお好みの場所に貼り付けてご使用ください。

エンジン回転センサー RSE-01ユニットの動作説明

別売りの RSE-01 エンジン回転センサーを取付ける事で、
夜間、LEDフォグライト本体のディマーセンサーに太陽光が当たらない場合、
エンジン回転数によって減光またはフルパワー点灯のいずれかの点灯状態になります。
減光のタイミングは走行状態から停車した時、数秒後にゆっくりと減光し始め、
更に数秒後に完全に減光します。

※日中、LEDフォグライト本体にあるディマーセンサーに太陽光が当たっている時は走行中、
停車中のエンジン回転数に左右されず常に減光点灯の状態になります。



品番:11605 RSE-01エンジン回転センサー ¥2,200(税込)



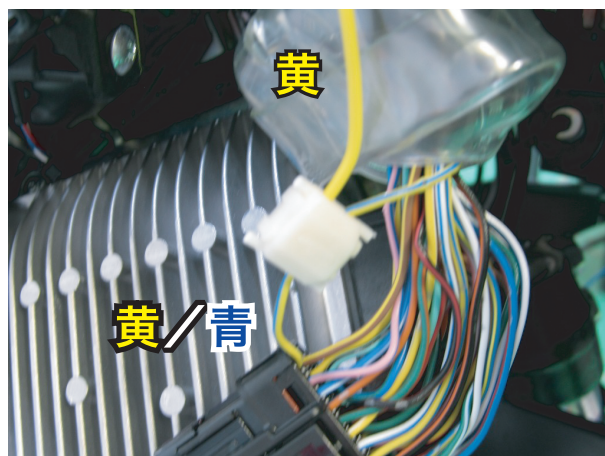
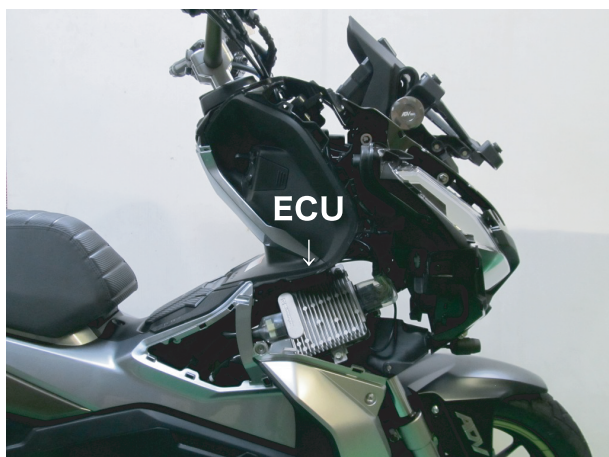
エンジン回転約2,000rpm以下のアイドリング停車中は減光点灯



エンジン回転約2,000rpm以上の走行中はフルパワー点灯

RSE-01 エンジン回転センサーの取付け方法

- ① 車体右側のECUハーネスの黄／青コードにRSE-01の黄コードを接続します。
結線はエレクトロタップ又は、被覆を剥いて金属線同士を絡ませてハンダ付け結線します。
※ハンダ結線の場合は必ず絶縁テープを巻いてください。

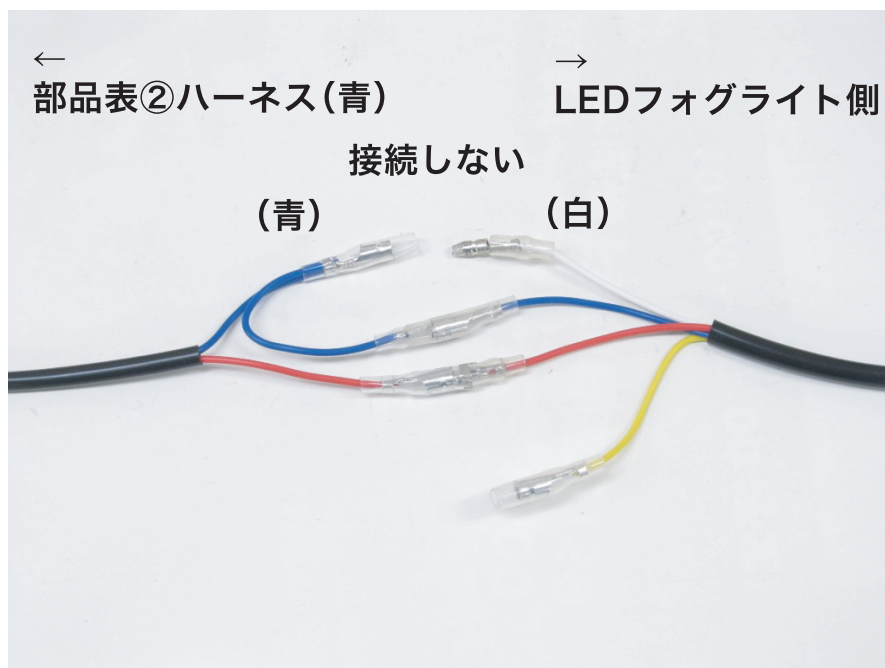


- ② ヘッドライト右側上部にRSE-01ユニットを貼り付けます。

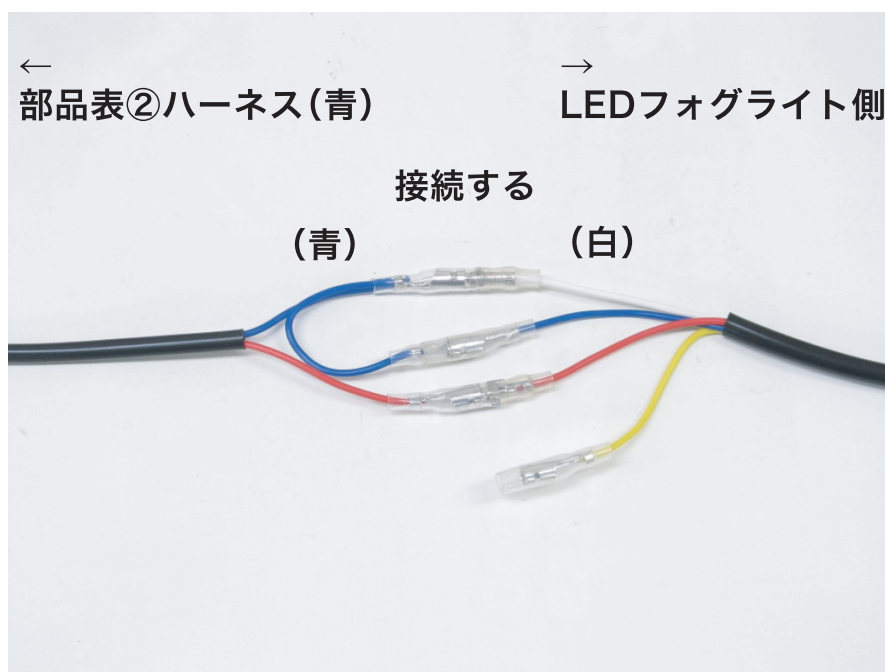


その他の配線方法については、
RSE-01ユニットの取扱説明書を
ご覧頂きまして結線してください。

ディマースセンサーを**有効**にする場合(日中減光・夜間フルパワー点灯)



ディマースセンサーを**無効**にする場合(昼夜常時フルパワー点灯)



ディマースセンサー機能を無効にした場合、長時間の停車をしますと、LED基盤が高温発熱し製品破損の原因になりますのでご注意ください。

夜間走行時(フルパワー点灯時)を100%とした場合の明るさ比較

※電源投入後6~10秒間(アイドリング中)はフルパワー点灯します。
10秒後から1/5に減光します。それ以外は下記の図の通りです。



日中走行時



夜間走行時

日中は減光し
デイライトとして
機能します。

夜間アイドリング時は
減光し、LEDの発熱を
抑えます。



日中アイドリング時



夜間アイドリング時

明るさの変化について

減光 20% → フルパワー点灯 100%
瞬時にフルパワー点灯

フルパワー点灯 100% → 減光 20%
徐々に1/5まで減光